

## ごみ収集の頻度

長引くコロナ禍で、在宅ワークや休日の在宅時間が増え、食事のデリバリーを活用することも常態化しました。このような生活習慣の変化に連動して、家庭ごみの排出量が増えています。

昨年9月議会では、ごみ収集とごみの資源化についても取り上げ、いくつか改善を要望しました。

### 段ボール

インターネット通販の普及で、段ボールの排出量は、前年度比28%増加しました。段ボールは嵩張るため、収集回数を増やしてほしいという要望が多くあります。

### ペットボトル

夏場のペットボトルはコロナ禍前から増えており、集合住宅の集積場所は溢れ、戸別住宅でも2週間に1回では少なすぎる、という要望を多く聞いてきました。

### 市に要望したこと

- ★段ボールとペットボトルの収集頻度を現在の月2回から増やすよう、予算要望しました。
- ★ごみ減量を進めるだけでなく、ごみの資源化も進め循環型社会を推進するよう要望しました。

その後、本市はサントリーと協定を結び、回収されたペットボトルは新たなペットボトルにリサイクルされることになりました！



リサイクルプラザに集められたペットボトルの山

特に夏場の収集作業は大変です！作業員の体調管理にも気を配っていただくよう、お願いしました。皆さん、感謝の気持ちで分別徹底しましょう！

## 出初式で今年の無災を願う



睦消防組による梯子乗り

毎年1月7日は、府中市消防団の出初式が実施されます。前日の雪が残っている状況でしたが、晴天に恵まれました。本年が、災害の無い、穏やかな一年になることを祈念します。

## 学力向上への取り組み

R3年度 全国学力調査の府中市の状況は、以下の通りとなりました。基礎知識の習得は、子どもの進路・人生にとってとても重要なことです。そこで、本市の学力向上策について、教育委員会に質問しました。

- 小学生⇒ 国語・算数ともに東京都平均を下回る
- 中学生⇒ 国語・数学ともに東京都平均を上回る

### 学力向上への取り組みは？

- ・学校が中心となり、子供にとってわかりやすい授業を行う
- ・一人一台のタブレット端末等 ICT 環境を最大限活用する
- ・家庭学習の習慣化を身につけるよう啓発する

### 算数・数学の少人数指導はどのようにクラス分けしているのか？

- ・基礎、発展など、習熟度別に分けている

### 英語の少人数指導はどのようにクラス分けしているのか？

- ・グループ間の習熟度が均等になるよう分けている

### 少人数指導を導入している効果は？

- ・少人数指導により、下位層に位置する人数が減少してきている

## 府中市政と活動報告をお届けします あすかレポート



府中市議会議員 増山あすか  
総務委員会 委員長  
市庁舎建設特別委員会 委員

昭和52年生まれ 国際基督教大学高等学校卒業 中央大学法学部卒業  
マニユライフ生命保険、ソフトバンク等、企業の法務で勤務  
自民政経塾9期卒業、府中市議会議員2期目

## 第21号【2022年冬号】

狭隘道路の拡幅条例化

下水道管の老朽化対策

学力向上への取り組み

ごみ収集の頻度 他



# 実現! 「<sup>きょうあい</sup>狭隘道路の拡幅」が遂に条例化されました!

平成30年より何度も議会で取り上げ、あすかレポート19号でもご報告した**狭隘道路（幅4m未満）の拡幅問題**。12月議会で、遂に、拡幅のための条例が成立しました!



府中市内には、**幅4m未満の狭い道路**や、**行き止まり道路**が多く存在しています。救急車や消防車などが走行しずらく、いざという時、救助に支障が出る恐れがあるため、早急に、道路を拡幅する必要があります。

土地所有者に無償で寄付をお願いするだけでは、なかなか拡幅できなかったことから、**奨励金を出してお願いすること**となりました。

## 条例のポイント

- ① 寄付した土地への奨励金
  - ・後退用地は評価額の10分の1
  - ・隅切用地は評価額の2分の1
- ② 建築確認申請前の事前協議制度
- ③ 後退用地にプランターやゴミ箱など支障物件の設置禁止

せっかく広げた道路部分には、通行を阻害する花壇やゴミ箱等を設置してはいけないことを明確にしました。



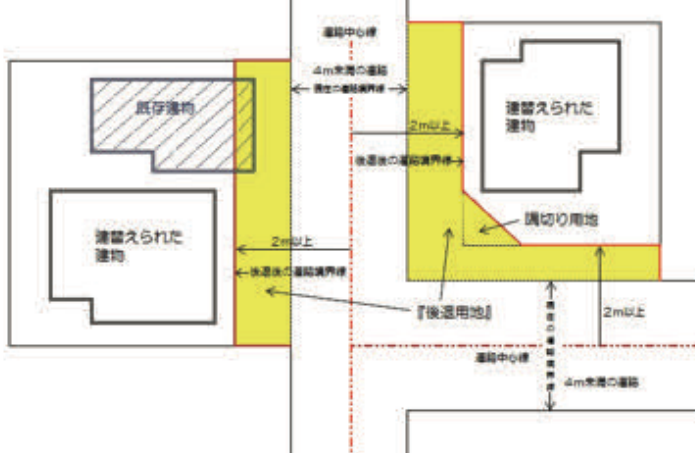
## 狭隘道路の拡幅例

左側植栽部分を道路整備しています。

住民が通行しやすくなるだけでなく、ゴミ収集車や介護車両も通行しやすくなります。

また、いざという時、救急車や消防車も通行できるようにすることが重要です。

道路の拡幅は、以下の図のように道路の中心から計測して両側に2mずつ広げてきます。

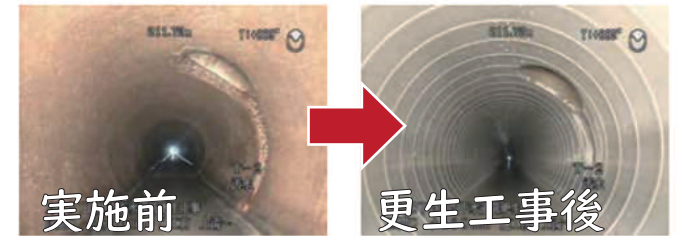


# 下水道管は大丈夫?

12月議会では、**下水道の老朽化対策・豪雨対策**を取り上げ、進捗を確認しました。

## 老朽化対策

リスク評価の高い地域から優先して管路内をカメラ調査し、管自体の入れ替え、または、管の内部を更生工事しています。  
R2年度までに、**南町・小柳町・朝日町・白糸台で実施済み**。



なお、私道の老朽化対策は、所有者が行うのが原則ですが、昭和45年頃敷設した下水道管は、市が敷設した場合が多く、その場合は市が老朽化対策を行います。

## 地震対策

マンホールが浮上し、緊急車両が通れなくなることを防止するため、対策をしています。

R2年度までに**498か所実施（68.3%実施済み）**



## 豪雨対策

下水道管は、時間降雨量50mmに対応できるよう整備していますが、多摩地域では、今後65mmに対応できるよう基本方針が変更となったため、**管路内の清掃や、雨水浸透ますの設置増加**に取り組んでいます。

## 市に要望したこと

私道に敷設された下水道管は、自分たちで対策する必要があるため、老朽化対策の注意喚起してほしい。また、中野区のように対策費の助成制度を創設してほしい。

お困りのことや市政へのご意見お寄せください

【発行所】府中市議会 市政会  
住所：府中市宮町 2-24 TEL：042-335-4505  
【連絡先】増山あすか事務所  
TEL：042-358-3110 FAX：042-358-6062  
メール：info@asuka-masuyama.com



災害に強い安全で住み良い綺麗な街づくりを進めましょう